

平成25年度 総務部 経営計画書

部署名	総務部
役職・氏名	部長 福池 敏和



<p>● 部の使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、高度化・多様化する住民ニーズにこたえられる人材を育成し、公正で開かれた市政運営に努めます。</p>	
--	--

<p>● 部の基本方針 ①透明で開かれた市役所があるまちを目指して、文書管理制度の見直し、人事制度改革、公有財産の適正管理及び入札制度の見直しを行ないます。 ②市民ニーズにこたえる市役所があるまちを目指して、業務改善、電算最適化に取り組みます。</p>

●平成25年度 部のスローガン	意欲(やるき)と実践
-----------------	------------

部署内経営資源					
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計
	23人	8人	31人		特別会計

総務部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
1 文書管理 制度の改 善	現在の文書管理ルールを見直し、透明で開かれた市役所となるように改善します。また、その制度を市役所全体で統一的に運用できるよう周知・徹底を図ります。	平成25年12月末までに現在の文書管理制度の問題点を洗い出し、改善策を平成26年1月中にまとめ、年度末までに周知する。	未着手	文書管理の問題点をアンケート形式で問いかけ。各部署からの回答を取りまとめ中です。	アンケートを実施し、文書管理の問題点を整理し、解決のために規程やルールの改正を行うとともにマニュアルを作成して職員に周知した。ただし、制度の根本的な部分の変更を伴う改正については、来年度以降での検討とする。

総務部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
2 人事制度改革	本格導入を目指して人事評価制度の構築を行うとともに、職員採用方法の見直しや、効果的な研修を実施するとともに、新たに人材育成施策を体系化し、公正な人事管理と職員の資質向上を図ります。	H25年度末までに、これまでの職員募集・採用試験の方法を見直し、新たな職員採用制度を構築する。 また、他市の研修担当者や研修センターと連携し効果的な研修を研究・実施する。 また、係長級の管理職評価についても検討する。	採用試験は他市との合同採用説明会を行うとともに、試験日程の前倒し及び試験内容の充実を図り、求める人材の確保に努めた。研修は他市研修担当者や研修センターと連携し問題の洗い出しを行っている。進捗割合は5割程度。 係長級の管理職評価については未着手。年度末までの制度化を目指す。	係長級以上への管理職評価を実施した。現在フィードバックに向けて準備中。研修については、研修センターとの連携を行いながら充実を図っている。進捗割合は9割程度	採用については、他市との合同採用説明会を行うとともに、試験日程の前倒し及び試験内容の充実を図った。 人事評価については、係長級以上への管理職評価を実施し、フィードバックした。 研修については、研修センターと連携を取りながら計画的に実施した。
3 公有財産の適正管理	各種の公有財産データを整理統合し、公有財産台帳システムを構築すること等により、適正な財産管理を行います。	年度末までに、土地・建物財産台帳データを作成し、公有財産管理台帳システムを構築し、併せて施設の再編(ファシリティマネジメント)についても検討する。 また、備品台帳システムを更新し、適正な備品管理を行う。	(株)パスコヘシステム構築委託しており、既存の財産台帳等のデータについては、既に入力済み。現在、現地調査の進行中である。進捗割合については6割程度。	公有財産システムの構築については、9割程度の進捗で残すは微調整と、設置検査のみとなり、ほぼ完成したものと認識している。	3月24日システム納品検査完了
4 電算の最適化	電算の最適化と業務改善を表裏一体と考え、電算の最適化を行いつつ業務の改善を行います。	平成24年度に実施した市役所全体の事務フロー調査や電算システムの導入調査を基に、できるものから業務の改善を行い、併せてICTにおける組織やセキュリティの体制を見直す。	基幹系システムの更新については、新規調達も視野に入れデモを行った。また、情報システム管理の専任部署の設置について、コンサルタントとの定期的な打合せを行っている。進捗割合については6割程度。	基幹系システムは試算の結果、番号制度導入にあわせて更新することとする。今年度末にかけて調達仕様書の策定を行う。進捗状況は8割程度。	国の番号制度の改修に対する計画が、想定よりも早期実現となったことや、臨時福祉給付金制度の導入により同時での作業は困難と判断し、新規調達に関しては再検討とする。

総務部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
5 入札制度 の見直し	一般競争入札を本格導入する等、入札の適正化を図ります。	6月から入札制度を見直し、一般競争入札の本格導入、建設コンサルの最低制限価格を導入する。また、年度内に総合評価方式導入に向けて検討する。	6月から建設工事に係る一般競争入札の本格導入及び建設コンサルの最低制限価格を導入済み。総合評価方式導入検討については未着手。年度末までに可能性を検討する。進捗割合については6割程度。	総合評価方式導入検討については、課内で検討した結果、低入札価格調査の導入や発注関係事務の体制整備等を先行する必要があるとの結論を得た。進捗割合については10割程度となっている。	1月末に同じ